

the 20th

Regular

Concert

定評ある《そごうの学生服》



- 生地はすべてニッケの高級服地を使用しています
- やせた方から肥満体の方まで 豊富なサイズ(9号～15号・B9・11・13・15号)の中からお選びいただけます
- 上着とスラックスの組合せも自由です
- ホコリや汚れを防ぐニッケスーパーガード加工…ズボンの折り目が消えないパーマネント加工つきです

■本館2階



千葉 **そごう**

国鉄千葉駅前

電話 千葉0472(24)1111(大代表)

日立チェーンストール
東京電力サービス店

(有) 鈴木電気商会

土気駅前通り ☎ 04757-4-0044



LX

店頭渡現金価格

¥1,041,000

- ◎愛車セット、フロアマット、スペアタイヤ、工具、ジャッキ付
- ◎保険、税金、及び諸費用は別途申しあげます。

中央ホンダ販売(株)

お問合せは………

0472

65-0001(代)

本社/千葉市南町(そが駅東口前) ☎0472-65-0001(代)

仁戸名(営):千葉市仁戸名町(大崎街道沿い) ☎0472-65-5151(代)

宮野木(営):千葉市宮野木(さつきが丘入口) ☎0472-52-3151(代)

市原(営):市原市山本(廣田台通り) ☎0436-41-3614(代)

習志野(営):船橋市習志野町(習志野自動車線) ☎0474-67-0546(代)

中古車:千葉市南町(今井電話局前) ☎0472-64-8811(代)

中古車:千葉市南町(そが駅東口前) ☎0472-65-2222(代)

千葉工高吹奏楽部

第20回定期演奏会



と き 昭和52年1月16日(日)pm1:30
と ころ 千葉市民会館大ホール
主 催 千葉工高吹奏楽部
千葉工業高等学校
後 援 千葉工業高等学校生徒会
千葉工業高等学校 P.T.A.

《第20回定期演奏会に当って》

(御挨拶)

千葉県立千葉工業高等学校
学校長 大森 嵩

本校吹奏楽クラブの定期演奏会が、大勢の皆様をお迎えして盛大に開催される運びとなりまして、まこと喜びに堪えません。特に今年は20周年という記念すべき年にあたり、喜びも又ひとしおといった気持ちであります。

毎年毎年メンバーの入れ替わる高校の吹奏楽クラブが毎年定期的に演奏会をもつということは大変な努力がいることだと思います。それが20年も絶えることなく続いて来たことは、私には驚異にさえ思えます。しかしよく考えて見れば、理由のないことではありません。演奏会というものは勿論聞いて下さる方がなければ成り立ちません。多くの方々が暖いご支援の気持ちから、聞いて下さったこと、部員の諸君がそれに応えようと、毎年のこの演奏会を大きな目標にして練習に励んできたこと、勿論これには講師、顧問の先生のご指導、よい伝統を残してくれた先輩の方々の激励、こうした諸々の要素の総合がこうして長年続けることのできた原動力だと信じます。まだまだ未熟とは思いますが、本日も最後までお聞き下さいまして、ごきたんないご批判をいただき、今後とも暖いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

一 御礼の言葉

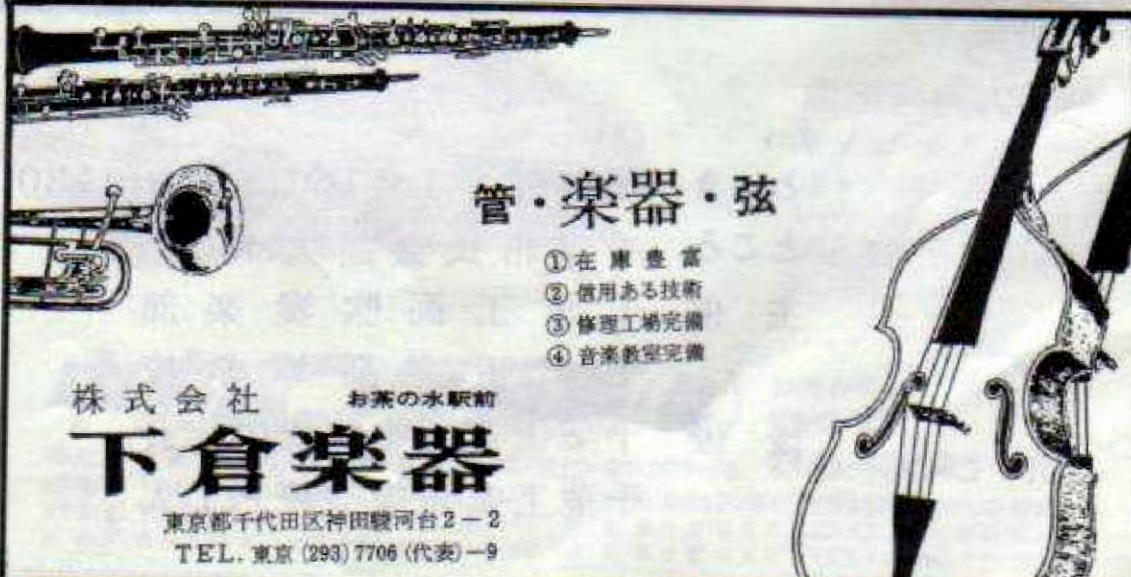
千葉県立千葉工業高等学校吹奏楽部顧問 山本 義彦

「学期末試験の始まったある日の午後、松林に囲まれた部室。いつもならトランペットの、ホルンの、クラリネットの不協和音でにぎやかであるのに、物音一つない静けさであった。壁に目をやると、ずらりと掛けられた額縁の中に、千葉工吹奏楽部の足跡を見た。」優勝、関東大会へ」4,5年前までの千葉工は破竹の勢いがあった。当時の思い出が走馬灯のように頭上を走る。

定期演奏会のポスターも初回からはられているが、ここに20回目を並べることになる。日にちも場所もデザインも異なるが、それぞれの中に一年間の努力の成果が感じられる。

ところで、今の私たちの姿は……。小じんまりとしてしまったが、皆やる気は満々である。私は今を一つの転換期とみて、千葉工吹奏楽部の将来を考えていきたいと思う。

最後になりましたが、本日は多数ご来場下さいまして、誠に有難うございました。部員一同、力一杯演奏いたしますので、ごゆっくりお聞き下さい。又、先輩諸君が多数参加され、この演奏会を盛り上げて下さったことを心から感謝し、御礼申し上げます。



管・楽器・弦

- ①在庫豊富
- ②信用ある技術
- ③修理工場完備
- ④音楽教室完備

株式会社 下倉楽器

お茶の水駅前
東京都千代田区神田駿河台2-2
TEL. 東京 (293) 7706 (代表) -9

最近はどここの学校でも学生のクラブ活動が大変盛んになっていますが、注意してみるとあまり努力しなくてもけっこう楽しめる様なクラブがやはり人気があり部員の人数も多い様です。残念ながら、1つの楽器を自分のものにするにはどうしても最低一年は地味な基礎練習を要し、又曲を仕上げるのに難所のパッセージを毎日毎日繰り返しさらわなければならない吹奏楽は、どうしても楽しんで楽しもうという当世風学生気質には多少敬遠される様ですが、今日この晴れのステージに登る諸君は、皆そうした地味な努力を重ねて来た学生ばかりです。どうか彼等へのささやかな勲章として盛大な拍手をお願いします。



- 昭和23年 千葉県に生まれる
- 41年 千葉高等学校卒業
- 45年 東京芸術大学楽理科卒業
指揮を斎藤秀雄氏、渡辺曉雄氏に、
音楽理論を柴田南雄氏、水野修考氏に師事
- 48年 3月、深谷亮子氏と協演
10月、国体記念演奏会で宮沢明子氏と協演
- 49年 3月、海野義雄氏と協演
10月、宮沢明子氏と協演
現在当クラブの指導に当るほか
千葉フィルハーモニー、市川交響楽団を指揮

広く明るくさっそうと

新型

ブルーバード

1600
1800
2000



千葉日産

本社・千葉市本千葉町9-21

一 御 礼 の 言 葉 一

吹奏楽部部員一同

本日は、未熟者であります私達の為に、お忙しい中御来場下さいまして誠にありがとうございます。新たな年を迎えて催されます、当千葉工高吹奏楽定期演奏会も今年で20回目を迎えることができました。これも偏に多くの先生方、先輩方の御指導と、皆様方の御支援の賜と部員一同心から深く感謝しております。

我々部員一同は、この演奏会のために、少しでも喜ばれる演奏、良い演奏、そして、皆様とお話しのできる様なステージを、と練習してきた一年間の成果をここに、発表させて頂きます。

まだ未熟な点々あると思いますが、ご遠慮なくご指摘され御指導いただければ幸いに存じます。また、今後とも当吹奏楽部に変らぬ御支援を下さいますよう重ねてお願い致します。

主 な 年 間 計 画

昭和51年2月	予 備 会
3月	当校卒業式 科技校卒業式
4月	新入生歓迎会
6月	春季合宿
7月	高等学校野球千葉県大会開会式
8月	夏季練習 合宿
9月	県吹奏楽コンクール
11月	文化祭
昭和52年1月	定期演奏会 三年引退



千工吹メンバー



Conductor 金子 建志

近藤 栄二 (3) 吹奏楽部顧問

大多和 隆 (OB) 同 同

Band leader 益満 章 (3)

司 会

山本 義彦

立川 勇

世良 協子

[Piccolo&Flute]

藤原 みどり (3)

高梨 義雄

吉江 恭一郎

渡辺 善衛

[Tener-Saxophone]

高橋 誠 (2)

坂田 稔平

渡辺 政和

[Bariton-Saxophone]

三須田 智人

[Tuba]

仙北 敏昭 (1)

大窪 貢詩

斎藤 周平

[Bb-Clarinet]

鈴木 ひろ子 (2)

正野 浩一 (2)

三瓶 政彦 (1)

山手 玲二 (1)

石井 修二

石川 雅彦

木原 保治

[Trumpet]

桜井 努 (1)

杉本 克男 (1)

中島 津木男 (1)

黒田 将夫

[Percussion]

堀越 宗雄 (3)

益満 章 (3)

中沢 直樹

[Eb-Clarinet]

石川 栄

武井 靖夫

[Horn]

近藤 栄二 (3)

益満 猛 (2)

長山 良治 (1)

岩井 章夫

西村 由之

[Euphonium]

成沢 竜二 (2)

[Bass-Clarinet]

宮木 和夫

[Trombone]

荒井 和男 (1)

山口 彰 (1)

[Alto-Saxophone]

小島 卓 (3)

岩井 泉 (1)

プログラム

第 **20** 回

第 1 部

行進曲「旧友」

Old Comrade

C. タイケ

C. Teike

ラデツキーマーチ

Radetzky March

J. シュトラウス

J. Strauss

祭と太鼓

三上 振 栄

第 2 部

嘆きのインディアン

ブルータンゴ

フレンチフェスティバル

センチメンタルジャーニー

J. D. Loudermilk

L. Anderson

G. Osser

B. Green

1977年1月16日
千葉市民会館

プロミス

N. Kalogjera

サニー

B. Hebb

第 3 部

交響的序曲

C. カーター

Symphonic Overture

C. Carter

アッピア街道の松

O. レスピーギ

The pines of the Appian Way
from "Pines of Rome"

O. Respighi

組曲「惑星」より木星

G. ホルスト

The Planets

G. Holst

4th Movement-Jupiter

小 島 卓 Alto - Saxophone



今日は、我々の演奏会を聞きに来ていただき、有り難う御座います。
私こと「小島君」が、初めてアルト・サクソという楽器にふれたかと言いますと、昭和49年 4月のある曇った日(10日です)のことで御座います。その当時の化学科1年B組、これが私のクラスであります。さて、この頭の回転の純いクラスへ、山本先生と言う人と、福田 弘(先輩)と言う人が、10日の日に来ました(前者2名は、自称です。あくまでも自称です!)。多少頭の回転が正常だった、多数の人々(?)は、一早く角へかくれ、多少頭の回転が純い私の所へやって来ました。そして「クラブへ入ってないなら、吹奏楽部へ入れ(命令形で)」と言うのです。その場でついその言葉にさそわれ、つい、つい、放課後吹奏楽部の部室(馬小屋のような部室?)へ行ってしまったのです。その後は、あちらさん(先輩方)のペースで、当日より、多少曲ったサクソと言う楽器をふかされました。1年目では、<先輩>「小島、もっとロングトーンをしろ。余韻を付けろ。」<私>……。2年目では、<先輩>「小島、デレデレしないでしへかり一年生におしえろ。e t e」<私>……。そして、やっとの事で、最上級学年イコール3年目の吹奏楽生活に入れました。各教科の先生を目をかすめて、練習につぐ練習(?)をかさね、私の血となり肉となり、やっとの事で、パート・チーフの座に座ることができました。(?何いってんだろう)雑感として、あまりのことは書けませんが、御来場の皆様、まだ未熟な演奏ですが、最後までごゆっくり、お聞き下さい。

近 藤 栄 二 Horn



仲間にさそわれて入部。その時初めて見るHornというものを手渡された。それは変にトグロを巻いてあり、とても奇妙な音(パオーパオーアフリカ象?)を出すのである。3本指で操作するという単純作業というのでこれなら僕にもってこいの楽器と思い、つい手を出したのが運のつきとうとう3年間悩まされてしまった。音はなかなか出ないし符面はろくに読めず先輩にはケチョンケチョンにいやメタクソにいやぼろくそにしごかれやっとの思いで2年になり先輩と言われる身分に昇格したが1年と3年の真中でいろいろつつかれ苦勞した。やっとう望の3年になったのもつかの間責任の重さを痛感しだいふやせてしまった。こんな3年間耐えて築きあげた音楽です。どうぞ最後まで聞いてやって下さい。

「何事も努力すれば幸福をもたらすというのは立派な考え方だが、努力しないで良い成果を得られないのは確かだが、努力してもつまらぬ結果しか出ない場合も多いものである。特に芸術についてはこの感が深い」……という言葉はどこかで読んだことがある。私もこの言葉どうりに努力(?)してきたが、とうとう満足なHornの音が出せなかったなあ……。

しかし私は今日きっと皆さんの暖い拍手で幸福な気持ちになるでしょう……。

藤 原 みどり Flute



わたしの場合、二年生になってから入部したわけで何が入ったかは忘れてしまった。入った理由はどうであれ、三年生になって思うことはやはり部を続けていて良かったということです。

女子が少ないので何かと気になることも多いけど、どうせ少ないんだからと言いきかせています。それに、みんな「このクラブに女なんていたのか」などと言ってるし……自分では、卒業したら少しは女らしくなるだろうと予想を立てている。三年生は、ごらんの通りの少人数です。少ないだけに、お互いに理解し助け合いながら部をまとめているのです。中でも一番苦勞のたえないのが部長の益満

君のようです。彼は、何かと部の事で悩みや心配があるらしくて、気真面なしぶった顔をしていることもしばしば見受けられます。次に頑張り屋は誰かと言うと、やはり近藤君と小島君があげられるようです。三年は人数が少ないだけに、一人一人に責任があるわけで甘くは過ごせないのです。一つの事を続けるのに楽なわけはないし、辛くて当然だとも思います。そんな中で、自分の楽器に対する愛情も深まっていくようです。

話しは変わりまして、こんな三年生の中に一人すごいドモリの人があります。これが誰かは言いませんが、この人の影響が非常に強いので今では部長にそれがうつってしまい、わたしにも多少うつったようです。このドモリ菌はビールス菌よりも、ずっと強く100度のお湯の中でも平気で泳ぎまわりさらに強さを増すので、手のつけようがありません。干工吹の部室がドモリ菌でうずもれるのも時間の問題です。仲間の悪口を言うのはよくないことなので、この辺でやめることにします。

(〇〇君、ごめんなさい?)

堀 越 宗 雄

Percation



何気なく入った吹奏楽クラブ。暇つぶしのつもりで入ったものの、この三年間はそんなあまいものではなかった。一年の時は、くる日もくる日も基礎打ちばかりだった。手がマメだらけになったり、皮がむけてスティックが血に染まったこともあった。そんな苦しい日々だけがすべてだった。しかし、その苦しい練習に耐え、一步一步できるようになっていくのは、とても楽しかった。そのうちに、アッという間に二年が過ぎた。その間には、コンクールのことや、定演のこと、技術的な面でなどで数多く悩んだこともある。楽しいこと、苦しいことなど、昨日のことのように思い出される。今日こうして、高校最後の演奏ともなると、なんとなく淋しいような気もする。でも、やっぱり吹奏楽部に入ってよかったと思う。今日は最後の演奏だから、ガッツで行こう。

益 満 章

Percation



本日は、御忙しい中、私一人の為に多数御来場下さいましたこと誠に心から、御礼を申し上げます。今を去ること三年前、私は堀越に引っぱられ連れて行かれた所では、何やら以前、聞いたことのあるような感じの音がし、さらに驚いたことに中学時代見た、いや年中手にしていた棒きれの太い奴を渡され即練習、時というものは遅いようであり、又かなり早く過ぎさってしまうものでありまして、私のクラブ活動も今日でおしまいです。しかし、私を見に来て下さった皆様、御心配なくどこかのバンドですっと続けるつもりですから……………。

音楽の好きな人は沢山いますね。聞くのが好きな人、自分1人でギターやピアノなどをやる人、グループサウンズもどきの音楽をやる人(私に言わせれば音苦)その他、私達のように多数の人間が協力して曲を作っていくと言うような物、種々あります。まあ、どれが良いか悪いかは人それぞれの価値感の問題ですのであえてこだわりません。なんでもやって見ることだと思えますね。私は吹奏楽の1リズムセクションとして吹奏楽の楽しさを知ることが出来て大変有意義な三年間であり吹奏楽と最高のものだと思いつこんでいるので当然吹奏楽を指示しますが、人それぞれ、好きずきですからね。ここで関係ないことですが、お願いがあります。私ばかり見ないでほかの三年も見てください。しかしえきは与えないで下さい……………。最後に第二十回定期演奏会、開催に当たりOBの皆様、その他関係各位の方々の御協力を深く感謝致します。教らぬ所は数々ありましょが、せいっぱいやりますので、どうか最後まで御聞き下さい。(内なる目を開け。DUNEより、現代人に必要なことだと思えます。昨年に続き、おたふく会ばんざい。)

昭和52年1月16日

編集者 千葉県立千葉工業高等学校
吹奏楽部

印刷所 中 嶋 孔 版 社

パルコイズムって なんだろう。



PARCO

渋谷・池袋・心齋橋・札幌・岐阜

千葉工高前 TEL (6) 7138

靴・カバン・ハンドバッグの専門店

カンガルー堂



うなぎ 安田

縣庁おき

電話 代表 27-3337

食業 22-3072

“手打ち.. うどん & そば

＊味とサービスを売る店＊

錢 形

＜皆様の御来店をお待ち致します＞

お問い合わせ⇒今井町 ☎0472(63)0410

パン・お菓子

休憩所完備

桑田商店

千葉工高前通り TEL(63)1712

□□□□□□□□

中華料理

大 竹

千葉工業高校通り

TEL (63) 1450

千工高教科書取扱店

新刊書／參考書／自習書

いのはな 多田屋

千葉市京葉町（お城坂下）TEL(22)2560

スポーツ品専門店

コジマヤ

本店 千葉市中央4丁目8番8号(本町通)X27) 8376

中央銀座店 千代田区中央5・セントラルプラザ6F (27) 5120

津田 潤 店 國電津田駅前三室二階 (73) 5632

八千代店 八千代台十字80内 (84)1211

茂 厚 店 駅前通り TEL 04752 (S) 5415

より楽しく
よりファシヨブル
になった5年目の

出逢いのひろば
セントラルプラザ

レコード
ミュージックテープ
家庭電器

・ナショナルショップ・

有朝日電器

千葉市南町2-21-17 蘇我病院坂下 TEL61-0109

//////////////////////////////////// 高級鮮魚・食料品 //////////////////////////////////////

海老屋

栄町 29-2

事務所 TEL 0472 24 0062

営業所 TEL 0472 24 0062(代)

有限会社
元木デンキ

千葉市白旗3-17-11
電話千葉(64) 6007番

有限会社
ミタカ寿司

代表取締役 平沢忠造

千葉市中央2丁目8番16号
電話 (22)1372 4281番